

回復期リハビリテーション病棟 実績 (2F)

1：退棟患者数 (2026年2月～2026年4月)

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

49名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

49名

③	②の状態患者の内訳	2月	3月	4月	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	3名	2名	7名	12名	24.49%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	8名	12名	8名	28名	57.14%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1名	4名	3名	8名	16.33%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名	0名	0名	0.00%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名	1名	0名	1名	2.04%

④ 実績指数

44.96

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数

108名

回復期リハビリテーション病棟 実績 (3F)

1：退棟患者数 (2026年2月～2026年4月)

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

47名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

47名

③	②の状態患者の内訳	2月	3月	4月	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	6名	6名	6名	18名	38.30%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	8名	7名	8名	23名	48.94%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1名	1名	1名	3名	6.38%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名	0名	0名	0.00%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名	1名	2名	3名	6.38%

2：実績指数 (前月までの6か月間)

④ 実績指数

48.05

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数

83名